

JSCE Magazine

Civil Engineering

土木學會誌

Vol.96 No.7 July 2011

特集
上下水道インフラ分野における
国際展開について
わが国が水メジャーになるために

震災特集 東日本大震災
—初動体制から応急復旧に向けた取組み—

トピックス
橋梁模型コンテスト

付録
土木学会 平成23年度全国大会 案内

この人に聞く
野村総合研究所 主任研究員
福田 隆之さんに伺いました

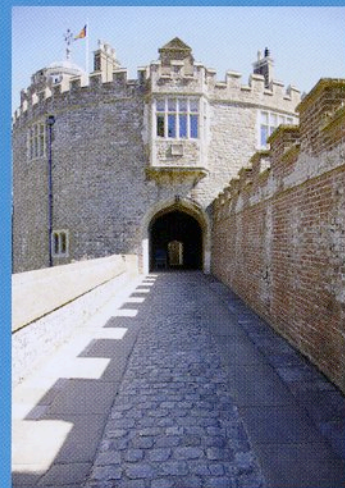
2011





英国の土木風景 4

産業革命、バクス・ブリタニカを経て、今もお世界の文明をリードし続ける国、イギリス。その国土に広がる誇り高き土木風景が発信するメッセージは、今もお世界中の人々の心に強く響き続けている。



◀▲ Walmer Castle (ウェルマー・カースル)

ウェルマー・カースル [ケント州ウェルマー]

Walmer Castle
[Walmer, Kent]

文・写真：岡田 昌彰 OKADA Masaaki

3層からなる石造の円形タワーを対称形に囲む4基の半円形稜堡。屋上に設置された重砲のレプリカと門樓の銃眼にはきな臭さが漂う。そして、それとはあまりにも対照的な美しい庭園。鮮やかな初夏の花々に彩られた広大な花壇の列は庭園の軸線をなし、カースルを貫く。その内部では、趣向を凝らした家具と贅沢な調度品に囲まれた瀟洒な窓枠が、青く澄み切ったドーヴァー海峡の水平線を見事に映し出す。

このウェルマー・カースルは、英国王ヘンリー 8世がスペインの侵攻に対する防御を目的として1540年に建造した要塞である。1400人もの労働者たちにより、わずか17ヶ月の工期で完成した。約1.5マイルおきに配置された2基の「姉妹砲台」とともに、イングランド東岸の防衛拠点がこの地に築かれることとなる。

この要塞はその後18世紀に転機を迎える。ワートルローの戦いでナポレオン軍を破った初代ウェリントン公爵や後の首相チャーチルら歴代特別五港長官の邸宅に転用されたのだ。水はけが良く壁が南西の風を遮る要塞は、偶然にも植物の繁茂に理想的ともいえる温暖な土地を形づくった。敷地はケイパビリティ・ブラウンら著名な造園家らによって、テラスや長大なヴィスタをもつ魅力的な庭園へと生まれ変わる。現在も国防遺産利活用の先進的事例に富む英国において、その実践は300年も前からすでに始まっていたのである。



環境に配慮した大豆由来のインクを使用しています。

